

でイスラム教の布教活動を始めたのは、610年のことである。東大寺の大仏の開眼供養は、752年に行われている。東大寺の大仏の開眼供養より前のできごとは、エである。(場所) イスラム教の聖地とされるメッカは、サウジアラビアにあり、地図上のCである。

- (2) ① 12世紀に平泉を本拠地とし、豊富だった金や馬等を利用して、勢力を築き上げた奥州藤原氏は、中尊寺金色堂を建立した。勢力を誇っていた奥州藤原氏は、1189年に源頼朝によって滅ぼされた。② 観阿弥・世阿弥父子が田楽・猿楽を融合発展させて能を大成したのは、室町時代前期の北山文化の時代である。③ 安土桃山時代の末期に登場した出雲阿国(いづものおくに)のかぶき踊りから発展し、やがて男だけの演劇である歌舞伎として大成して、江戸の人々の娯楽となったのが歌舞伎である。正しい組み合わせは、オである。
- (3) IIIの写真は、平等院鳳凰堂であり、1053年に建立された。ア 1185年に実質的に幕府を開いていた源頼朝が征夷大将軍となったのは、1192年である。イ 鎌倉幕府が京都に六波羅探題を置いたのは、承久の乱直後の1221年である。ウ 白河天皇が上皇となり、院政を開始したのは、1086年である。エ 大宝律令が制定されたのは、701年のことである。したがって、鳳凰堂が建立された年代と、最も近いのはウである。

2 (歴史的分野—日本史時代別—安土桃山時代から江戸時代・明治時代から現代、—日本史テーマ別—政治史・経済史・外交史・文化史、—世界史—政治史)

- (1) A ア 本居宣長は江戸後期の国学者である。著作に『古事記伝』等がある。イ 野口英世は昭和初期にアフリカのガーナで黄熱病の原因究明の研究をした医師である。エ 中江兆民は明治時代の自由民権運動の活動家であり、著作にはルソーの『民約論』の翻訳である『民約訳解』等がある。ア・イ・エのどれも別の人物であり、正しいのは、ウの杉田玄白である。ウ 杉田玄白は、前野良沢とともに『ターヘル・アナトミア』を翻訳し、『解体新書』を出版した。B bが正しい。江戸幕府の八代将軍徳川吉宗は、享保の改革の中で、洋書輸入の制度を緩和し、それにより、『ターヘル・アナトミア』等の書物が輸入された。
- (2) Xの文章は、ヨーロッパから移住して来た人々との趣旨から、アメリカ合州国であることがわかる。Yの文章は、産業革命に言及しており、世界に先がけて産業革命を成し遂げたイギリスであることがわかる。正しい組み合わせは、アである。
- (3) ア 独立戦争を起こし、三権分立を取り入れた憲法を制定していたのは、18世紀末のアメリカである。イ 都市の民衆や農民らが革命をおこし、人権宣言を出していたのは、18世紀末のフランスである。エ 議会を尊重する新しい国王を迎えたのは、名誉革命を成し遂げたイギリスである。ア・イ・エのどれも別の国の説明であり、ドイツの説明として正しいのは、ウである。ウの文は主として、鉄血宰相と呼ばれたビスマルクが主導した19世紀のドイツの説明をしている。
- (4) イ 1897年の綿糸の国内生産量は、生糸とほぼ並ぶようになっていた。ウ 資本家が、道具などの生産手段をそろえた工場に人を雇って集め、賃金を払って、分業で製品を生産させるのが、工場制手工業のしくみである。工場制手工業は、マニユファクチュアともいい、江戸後期に成立した形態である。エ 1911年に、長年の懸案であった工場法が成立した。12歳未満の者を就業させることを禁止するなどの内容があったが、施行は5年後の1916年となった。イ・ウ・エのどれも資料を正しく読み取っていない。ア 日清戦争前には、綿糸の輸出量は、綿糸の輸入量よりも多くなかった。正しいのは、アである。なお、その後には、産業革命を経て機械化が進み、綿糸の国内生産量が増え、綿糸の輸出割合が輸入割合を上回っている。